

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名 株式会社 アイ・テック

上場取引所 東

コード番号 9964 URL <http://www.itec-c.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大畑 榮一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 伏見 好史

TEL 054-337-2001

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,416	△8.0	215	158.7	395	—	197	—
25年3月期第1四半期	15,667	34.7	83	—	△107	—	△39	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 227百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △60百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.52	—
25年3月期第1四半期	△3.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	51,151	20,751	40.4	1,726.42
25年3月期	51,084	20,704	40.4	1,722.39

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 20,670百万円 25年3月期 20,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,700	△6.7	906	—	924	—	510	—	42.60
通期	58,500	0.7	1,319	707.7	1,505	3.0	797	△5.6	66.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	12,215,132 株	25年3月期	12,215,132 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	241,948 株	25年3月期	241,948 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	11,973,184 株	25年3月期1Q	11,973,184 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日本銀行による経済対策や金融緩和等から円安が進行し輸出や生産に回復の動きが見られました。また、輸出関連企業を中心に企業収益も改善しており、海外景気の下振れが景気を下押しするリスク等はあるものの、景気は着実に持ち直しの動きが見られるようになりました。

当鉄鋼流通加工業界におきましては、国内鋼材市況は長期に渡り低迷しておりましたが、昨年の円高修正局面からスクラップ価格は上昇に転じ、国内鉄鋼メーカーは製品出荷価格の値上げを発表しており、年初から市況は徐々に回復傾向となっております。また、5、6月には回復基調に若干の陰りがあったものの概ね順調に推移しております。

このような環境下にあります当社グループ（当社及び連結子会社）は、東日本大震災の復興需要につきましては社会インフラ整備が中心ではあるものの、徐々に建築物等にも波及してきております。また、その他の地域においても積極的な営業活動を展開しており、得意先でありますゼネコンやファブリーケーターが請負う建築物等の受注状況は改善の兆しを見せ始め、鋼材の荷動きは徐々に回復しつつあります。このような状況から、鋼材の販売・加工事業の売上高につきましては概ね前年並みに推移いたしました。なお、東京支社を中心とした鉄骨工事請負事業は、民間設備投資は持ち直しの動きが見られ、物件情報等は徐々に増加しており、他社との競合など厳しさは残るものの、長年の施工実績等から受注活動は堅調に推移しております。工事売上額につきましては、工事完成基準適用の中小物件は完成物件も多く売上高は増加となりましたが、工事進行基準適用の大型物件につきましては昨年から多くの物件が完成間近となり進捗が一段落したことより売上高は大幅な減少となりました。これらの結果から当第1四半期連結累計期間の売上高は14,416百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

収益面におきましては、鋼材市況は年初から回復傾向となっており、ようやく鋼材流通業として適正な収益確保が出来る状況となって参りました。また、鉄骨工事請負事業におきましては、鉄骨加工単価は歴史的な低水準からは回復しておりますが、収益性の低い物件も散見され、グループ各社においてコスト削減の努力は鋭意行っているものの、引き続き厳しいものとなっております。これらの結果から当第1四半期連結累計期間の営業利益は215百万円（前年同期比158.7%増）となりました。また、円安の進行から為替差益140百万円の発生により経常利益は395百万円（前年同期は経常損失107百万円）、四半期純利益は197百万円（前年同期は四半期純損失39百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋼材の販売・加工事業

鋼材の販売・加工事業は、建築関連の民間設備投資は緩やかに持ち直しており、鋼材の荷動きは徐々に回復しつつあることから、当社の販売量、販売金額は共に前年同期を若干上回る結果となりましたが、鉄骨工事請負事業へのセグメント間取引の増加から顧客に対する売上高は前年同期を若干下回る結果となりました。

品種別に見ますと、当社主力のH形鋼は、従来の建築向けに加え、土木向けの販売も好調だった事から、販売量、販売金額共に前年を上回っております。また、販売価格も堅調に推移した事から収益に貢献しております。鋼板類は、昨年は大型物件の受注により大幅増となっていた反動から当第1四半期連結累計期間は前年同期を大きく下回る結果となりました。また、鋼管類は、ロール成形コラム、プレス成形コラム共に好調に推移した事から、販売量・販売金額共に前年同期を大幅に上回る結果となりました。以上の結果から、売上高は11,219百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は350百万円（前年同期比369.9%増）となりました。

② 鉄骨工事請負事業

鉄骨工事請負事業は、民間設備投資は回復の兆しを見せており、首都圏、関西圏及び中京圏の大都市を中心とした再開発や大型物件に加え、地方の中小物件にもようやく動きがみられる様になって参りました。受注状況につきましては、前年同期に比べ受注件数、受注金額共に下回っているものの、概ね順調に推移しております。売上高につきましては、工事進行基準適用の大型物件は昨年受注の物件の進捗が一段落したことに加え、新規着工の伸び悩みから大幅な売上高の減少となったものの、工事完成基準適用の中小物件は、例年、年度末に完成が集中し、第1四半期連結累計期間は完成物件が減少する傾向があるものの、当期はその様な影響も無く多くの物件が完成を迎えました。以上の結果から、売上高は3,107百万円（前年同期比28.3%減）となりました。また、収益につきましても非常に厳しく、各鉄骨加工子会社において原価割れの工事が散見された事等から営業損失は48百万円（前年同期は営業利益79百万円）となりました。

③ その他

その他は、倉庫業及び運送業であり、運送業についてはグループ外の鉄骨製品輸送を積極的に行った事から売上高は前年同期を大幅に上回りました。倉庫業につきましても堅調に推移いたしました。これらにより売上高は88百万円（前年同期比74.6%増）、営業利益は23百万円（前年同期比416.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は51,151百万円(前連結会計年度末は51,084百万円)となり、66百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少1,932百万円及び売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加1,913百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は30,399百万円(前連結会計年度末は30,380百万円)となり、19百万円増加しました。主な要因は、鋼材の仕入増加に伴う買掛金の増加921百万円及び短期借入金の減少300百万円、請負工事の完成等に伴う未成工事受入金の減少253百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,751百万円(前連結会計年度末は20,704百万円)となり、47百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加18百万円、その他有価証券評価差額金の増加30百万円であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,932百万円減少し、当第1四半期連結累計期間末には1,681百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,336百万円(前年同期比174.5%増)となりました。これは主に、売上債権の増加額1,932百万円、未払消費税等の減少額351百万円及び未成工事受入金の減少額253百万円等がありました。税金等調整前四半期純利益382百万円、仕入債務の増加額921百万円及び減価償却費143百万円等により一部相殺されたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は174百万円(前年同期は140百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出175百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は483百万円(前年同期は964百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の減少額300百万円と配当金の支払額173百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日の平成25年3月期決算短信にて公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の業況の変化によって異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合には、確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,669,293	1,736,574
受取手形及び売掛金	15,810,603	17,723,820
商品及び製品	4,988,022	5,920,110
原材料及び貯蔵品	2,833,108	2,077,682
未成工事支出金	3,757,880	3,649,436
繰延税金資産	574,705	524,066
その他	511,330	559,306
貸倒引当金	△60,600	△48,900
流動資産合計	32,084,344	32,142,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,562,088	12,579,737
減価償却累計額	△6,984,535	△7,067,136
建物及び構築物（純額）	5,577,552	5,512,601
機械装置及び運搬具	5,301,984	5,755,871
減価償却累計額	△4,950,797	△4,986,143
機械装置及び運搬具（純額）	351,187	769,728
土地	10,740,576	10,740,576
リース資産	161,848	184,648
減価償却累計額	△49,846	△59,651
リース資産（純額）	112,001	124,996
建設仮勘定	419,446	24,139
その他	340,618	348,191
減価償却累計額	△322,683	△324,332
その他（純額）	17,934	23,858
有形固定資産合計	17,218,700	17,195,900
無形固定資産		
投資その他の資産	40,958	44,171
投資有価証券	758,715	791,683
関係会社株式	1,000	1,000
関係会社出資金	38,375	38,375
保険積立金	513,965	514,835
繰延税金資産	40,281	44,528
その他	842,651	834,467
貸倒引当金	△454,288	△455,492
投資その他の資産合計	1,740,700	1,769,396
固定資産合計	19,000,358	19,009,468
資産合計	51,084,703	51,151,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,964,774	8,886,145
短期借入金	16,599,931	16,299,914
リース債務	38,723	47,030
未払法人税等	115,192	56,464
未払消費税等	409,403	56,559
賞与引当金	77,900	22,800
役員賞与引当金	37,800	9,700
未成工事受入金	1,593,286	1,339,859
その他	832,273	847,455
流動負債合計	27,669,284	27,565,930
固定負債		
リース債務	63,866	72,117
繰延税金負債	781,591	888,969
退職給付引当金	1,025,225	1,048,864
役員退職慰労引当金	473,437	480,354
負ののれん	331,784	308,085
その他	35,407	35,407
固定負債合計	2,711,312	2,833,799
負債合計	30,380,597	30,399,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,829	3,948,829
資本剰余金	4,116,979	4,116,979
利益剰余金	12,628,408	12,646,646
自己株式	△204,469	△204,469
株主資本合計	20,489,746	20,507,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,695	162,779
その他の包括利益累計額合計	132,695	162,779
少数株主持分	81,663	81,072
純資産合計	20,704,106	20,751,836
負債純資産合計	51,084,703	51,151,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	15,667,254	14,416,487
売上原価	14,378,331	12,886,414
売上総利益	1,288,923	1,530,072
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	288,022	312,562
給料手当及び賞与	362,109	411,053
賞与引当金繰入額	13,020	14,042
役員賞与引当金繰入額	8,625	9,700
退職給付費用	19,847	19,784
役員退職慰労引当金繰入額	6,655	6,917
減価償却費	77,327	79,712
その他	430,166	461,200
販売費及び一般管理費合計	1,205,773	1,314,974
営業利益	83,149	215,098
営業外収益		
受取利息	2,959	493
受取配当金	5,375	6,720
仕入割引	6,093	6,557
受取賃貸料	5,878	9,271
為替差益	—	140,727
デリバティブ評価益	—	1,675
負ののれん償却額	23,698	23,698
貸倒引当金戻入額	23,372	10,496
役員退職慰労引当金戻入額	44,103	—
その他	14,331	7,137
営業外収益合計	125,811	206,779
営業外費用		
支払利息	26,398	21,162
為替差損	31,416	—
デリバティブ評価損	196,423	—
保険解約損	46,786	—
その他	15,770	4,980
営業外費用合計	316,795	26,143
経常利益又は経常損失(△)	△107,834	395,734
特別利益		
補助金収入	1,338	487
特別利益合計	1,338	487
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,265
特別損失合計	—	13,265

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△106,495	382,957
法人税、住民税及び事業税	8,725	47,721
法人税等調整額	△74,798	138,043
法人税等合計	△66,073	185,765
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△40,422	197,192
少数株主損失 (△)	△947	△642
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△39,474	197,835

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,422	197,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,367	30,135
その他の包括利益合計	△20,367	30,135
四半期包括利益	△60,789	227,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,820	227,919
少数株主に係る四半期包括利益	△968	△591

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,495	382,957
減価償却費	124,613	143,591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32,241	△10,496
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,500	△55,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,175	△28,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,616	15,243
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△121,351	6,917
受取利息及び受取配当金	△8,334	△7,214
支払利息	26,398	21,162
為替差損益(△は益)	25,096	△61,137
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13,265
有形固定資産売却損益(△は益)	△851	△729
有形固定資産除却損	834	—
無形固定資産除却損	2,597	—
デリバティブ評価損益(△は益)	196,423	△1,675
保険解約損益(△は益)	46,786	△925
補助金収入	△1,338	△487
売上債権の増減額(△は増加)	△1,963,346	△1,932,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,305	△68,219
その他の流動資産の増減額(△は増加)	66,934	△18,974
仕入債務の増減額(△は減少)	1,050,892	921,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	135,634	△351,505
未成工事受入金の増減額(△は減少)	154,179	△253,426
その他の流動負債の増減額(△は減少)	169,868	85,858
その他	△23,494	△23,401
小計	△436,791	△1,223,809
利息及び配当金の受取額	8,372	7,214
利息の支払額	△27,740	△21,383
法人税等の支払額	△32,076	△99,164
補助金の受取額	1,338	487
営業活動によるキャッシュ・フロー	△486,897	△1,336,654

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△65,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△15,965	△175,570
有形固定資産の売却による収入	373	1,581
投資有価証券の取得による支出	△355	△368
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△350	△21
長期貸付けによる支出	△146,675	—
長期貸付金の回収による収入	255,729	435
保険積立金の積立による支出	△1,969	△1,969
保険積立金の払戻による収入	64,303	2,025
その他	360	△125
投資活動によるキャッシュ・フロー	140,450	△174,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,200,472	△300,016
配当金の支払額	△229,818	△173,023
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,297	△10,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	964,355	△483,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,096	61,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	592,813	△1,932,719
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,595	3,614,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,861,409	1,681,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,284,464	4,331,848	15,616,312	50,941	15,667,254	—	15,667,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	733,550	52,553	786,104	418,438	1,204,542	△1,204,542	—
計	12,018,015	4,384,401	16,402,417	469,379	16,871,796	△1,204,542	15,667,254
セグメント利益	74,531	79,186	153,718	4,579	158,297	△75,148	83,149

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△75,148千円には、セグメント間取引消去14,072千円、全社費用△89,220千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,219,821	3,107,736	14,327,558	88,928	14,416,487	—	14,416,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	818,805	3,956	822,761	453,497	1,276,258	△1,276,258	—
計	12,038,626	3,111,693	15,150,319	542,426	15,692,745	△1,276,258	14,416,487
セグメント利益 又は損失(△)	350,215	△48,039	302,176	23,637	325,814	△110,715	215,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△110,715千円には、セグメント間取引消去△18,571千円、全社費用△92,143千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。